

1. 4月から6月までのパイプラインの運転状況について

■ パイプラインに関するチェックポイント

ごみ収集パイプラインが適切に運転されているかどうかを判断するためには、日々の運転データや報告書に基づくいくつかの重要な項目を確認する必要があります。利用者の皆さまにとっても、これらのチェックポイントを理解しておくことで、現状の把握や問題の早期発見につながります。以下に、現在注目すべき主なチェック項目を挙げ、それぞれの見方を簡潔にご説明いたします。

1. 日別・月別の電力使用量

パイプラインの運転にかかる電力量は、設備の状態や運転方法の影響を大きく受けます。通常よりも電力量が急増している場合は、過剰運転や装置の劣化が疑われます。特に、前年同月との比較や通気運転の有無による差を見ることが有効です。

2. ごみ量および赤ランプの点灯頻度

ごみ投入口における「ごみ満杯による赤ランプの点灯状況」から、ごみの集中や使用傾向を把握することが可能です。特定の曜日や時間帯に赤ランプが頻発する場合は、ごみ搬送のタイミングの見直しや住民への注意喚起が必要となる可能性があります。

3. 異常アラートの件数

機器の誤作動やシステム上の異常が発生した場合、設備は自動的に@ペレーションルームでアラートを出す仕組みになっています。月間でのアラート発生回数が増加している場合、重大な機器の不具合や異常投入が継続している可能性があり、早期の対応が求められます。この報告は年2回行われ得ちます。

4. マナー違反の異物の種類と混入回数

投入口から投入されるべきでない物(新聞紙、段ボール、びん・缶・電池・鉄製品・傘・発泡スチロールなど)が輸送管内で検出される場合、運転停止や故障の原因となります。これらの混入履歴は、報告書に記録されていますので、啓発活動や注意表示の強化につなげることが重要です。

これらのチェック項目は、運転状況を総合的に把握し、設備の健全性を評価するうえで重要な手がかりとなります。今後、利用者の会ではこれらの情報を整理・分析し、分かりやすく報告してまいります。

皆さまにおかれましても、身近な視点でパイプラインの状態に関心を持っていただき、安全かつ持続可能なごみ収集体制の維持にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

パイプライン運転記録(2025 年4～6 月)

【収集ごみ量】

収集ごみ量 [kg]	期 間	R7年度	R4年度	対比 (R7年度/R4年度)	
	4/1～6/30	873,150	515,250	169%	

雨水を含んでいますので重量がかさみます

【ブロワ運転時間】 ← 大きな電気量が発生します

ブロワ運転時間 [min]	期 間	R7年度	R4年度	対比 (R7年度/R4年度)	備 考
	4/1～6/30	22,802	23,886	95%	

【ブロワ電力量】

ブロワ電力量 [kWh]	期 間	R7年度	R4年度	対比 (R7年度/R4年度)	備 考
	4/1～6/30	204,850	223,420	92%	R4年度との電気 料金削減目安 ▲327,874円

考察(TMES)

- R5 年度は定時満杯運転等への運転方法変更がございましたので、R4 年度との対比といたしました。
- 輸送管内への浸入水による影響で運転時間及び収集ごみ量が増加いたしました。
- 電気料金は使用電力量に下記参考価格を乗じたものとなります。
(電力会社 6 月参考価格:17.71)

パイプライン運転報告(ごみ吸引状況) 芦屋浜地区

ごみ量および赤ランプの点灯頻度(投入状況の把握)

パイプライン設備には、ごみ投入口が満杯になると赤ランプが点灯する仕組みがあります。これにより、日々の程度の投入口が実際にごみで満杯になっているかを把握することが可能です。

特に注目すべきは、朝 5 時から実施されるごみ吸引の運転状況です。データによると、月曜日は比較のごみ量が多く、約 100 か所ある投入口のうち平均して 23 か所が満杯状態(赤ランプ点灯)となっています。これは週末をはさんでごみが多くなる傾向と一致しており、運転の必要性があることを示しています。

しかしながら、残りの 77 か所の投入口は満杯ではないにもかかわらず、一律で吸引運転が行われているのが現状です。このことは、厳密に見れば「必要のない吸引運転によって無駄な電力が消費されている」という課題を示唆しています。

このような状況に対しては、吸引運転の対象を満杯箇所限定する運用方法や、曜日・時間帯による運転回数の見直しなど、より効率的で省エネルギーな運用の検討が必要です。実際に一部の自治体では、時刻別の運転調整を導入し、省エネとコスト削減の両立を図っている例(千葉県の日吉台)もあります。

今後、こうした吸引運転の実態と改善可能性についても、ワーキング・グループで分析・検討を進めていく予定です。

【パイプライン施設 満杯発生回数】

期間：4月1日～4月30日

早朝運転時システムダウン発生日：4/21,4/22,4/30 ・ 早朝運転時の故障発生日：4/1,4/10,4/14,4/16,4/19,4/23

[箇所]

時間帯		4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/28	4/29	4/30	日平均 (4/1～4/30)	日平均 (3/1～3/31)	備 考
		火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水			
早朝5時時点の赤ランプ箇所数		38	26	29	4	19	39	29	27	23	11	25	42	36	24	22	21	18	54	38	20	19	19	22	32	20	30			・ 月曜日は土曜日の15:00以降の満杯発生合計
1回目 (5:00) 運転前	3:00～5:00 ※月曜日のみ日曜日の3:00～	1	2	0	0	0	38	1	1	0	0	1	39	0	0	0	0	0	52	0	0	0	3	0	1	0	0	4.6	6.9	・ 「5:00に定時運転」 ・ 月曜日のみ日曜日の3:00以降の満杯発生回数を含んでおります。
2回目 (15:00) 運転前	7:00～	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0.3	0.3	「月曜日のみ15時頃に定時運転」 「土曜日のみ14:20頃頃に定時運転」
	8:00～	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	
	9:00～	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	2	0.3	0.4	
	10:00～	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.6	
	11:00～	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0.4	0.7	
	12:00～	0	1	0	1	1	5	0	0	1	0	1	3	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0.6	0.6	
	13:00～	1	1	0	1	0	3	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	2	3	2	0	0.7	1.3	
	14:00～	1	0	2	0	0	2	0	1	1	2	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	3	1	3	0.7	0.7	
	15:00～23:00	19	26	20	16	1	28	25	22	7	21	3	36	21	21	20	16	2	38	16	16	14	20	4	20	27	22	16.0	13.7	
合 計		24	29	24	19	4	42	26	23	11	24	6	48	24	22	21	18	6	51	20	19	16	22	9	29	30	27	19.8	18.6	
1日の合計		25	31	24	19	4	80	27	24	11	24	7	87	24	22	21	18	6	103	20	19	16	25	9	30	30	27	24.4	25.5	

【パイプライン施設 満杯発生回数】

期間：5月1日～5月31日

早朝運転時システムダウン発生日：5/6,5/24 ・ 早朝運転時の故障発生日：5/1,5/7,5/10,5/12,5/16,5/19,5/22,5/27,5/28,5/30

〔箇所〕

時間帯		5/1	5/2	5/3	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	日平均 (5/1～5/31)	日平均 (4/1～4/30)	備 考
		木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土			
早朝5時時点の赤ランプ箇所数		27	27	19	64	19	20	38	23	5	60	32	28	13	21	16	58	36	23	14	13	22	52	23	17	15	16	14			・ 月曜日は土曜日の15：00以降の満杯発生合計
1回目 (5:00) 運転前	3:00～5:00 ※月曜日のみ日曜日の3:00～	0	0	0	63	0	0	0	0	0	56	1	1	0	0	0	55	0	1	0	0	1	51	0	0	0	0	0	7.4	0.3	・ 「5:00に定時運転」 ・ 月曜日のみ日曜日の3：00以降の満杯発生回数を含んでおります。
2回目 (15:00) 運転前	7:00～	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	7	0.5	0.3	「月曜日のみ13時頃に定時運転」 「土曜日のみ14:20頃頃に定時運転」
	8:00～	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	8	0.7	0.3	
	9:00～	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	0.5	0.3	
	10:00～	0	0	1	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0.5	0.4	
	11:00～	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	1	3	2	0	0	0	3	0.6	0.4	
	12:00～	1	0	1	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0	2	0	6	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4	0.8	0.6	
	13:00～	0	1	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	3	1	0	0	1	3	0.6	0.6	
	14:00～	0	0	1	0	0	2	1	0	2	2	0	0	1	0	0	2	3	0	2	0	1	1	1	0	0	0	3	0.7	0.5	
	15:00～23：00	21	17	1	19	19	30	18	3	4	31	25	9	16	13	3	36	18	11	9	19	1	23	12	12	15	11	0	12.8	13.7	
	合 計	27	19	4	20	20	38	23	5	8	44	27	13	21	16	3	53	22	14	13	21	3	34	17	15	16	14	37	17.6	16.9	
1日の合計		27	19	4	83	20	38	23	5	8	100	28	14	21	16	3	108	22	15	13	21	4	85	17	15	16	14	37	25.0	17.3	

【パイプライン施設 満杯発生回数】

期間：6月1日～6月30日

早朝運転時システムダウン発生日：6/5,6/6,6/9,6/16,6/17,6/18,6/19,6/23,6/26,6/27,6/29,6/30・早朝運転時の故障発生日：6/12,6/13,6/14,6/24,6/28

[箇所]

時間帯		6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/30	日平均 (6/1～6/30)	日平均 (5/1～5/31)	備 考
		月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月			
早朝5時時点の赤ランプ箇所数		57	31	13	26	16	17	52	18	9	24	32	13	51	18	22	15	13	15	45	20	17	17	16	14	61			・ 月曜日は土曜日の15：00以降の満杯発生合計
1回目（5:00） 運転前	3:00～5:00 ※月曜日のみ日曜日の3:00～	57	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	59	8.7	7.4	・ 「5:00に定時運転」 ・ 月曜日のみ日曜日の3：00以降の満杯発生回数を含んでおります。
2回目（15:00） 運転前	7:00～	1	0	0	4	6	5	6	0	0	4	0	2	19	0	1	1	0	0	2	0	0	0	3	0	6	2.0	0.5	「月曜日のみ15時頃に定時満杯運転」 「土曜日のみ14:20頃頃に定時満杯」
	8:00～	0	0	1	0	0	7	2	0	0	5	0	1	5	2	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	1.0	0.7	
	9:00～	1	1	0	0	0	6	1	0	0	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.5		
	10:00～	3	0	0	0	0	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4	0.5	
	11:00～	2	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	2	0.4	0.6	
	12:00～	1	0	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	0.5	0.8	
	13:00～	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3	1	2	0	1	0	4	0	1	0	0	1	2	0.6	0.6	
	14:00～	5	0	2	1	0	4	4	2	2	0	1	0	2	2	1	0	0	0	3	2	1	0	1	0	0	1.1	0.7	
	15:00～23：00	31	12	21	11	11	1	18	6	22	15	11	0	18	16	9	12	10	2	20	15	15	15	9	2	17	10.6	12.8	
	合 計	45	13	26	16	17	31	37	9	24	32	13	4	48	22	15	13	15	2	33	17	17	16	14	5	33	17.2	17.6	
1日の合計		102	13	26	16	17	31	88	9	24	32	13	4	99	22	15	13	15	2	76	17	17	16	14	5	92	25.9	25.0	

パイプライン運転報告(ごみ吸引状況) 南芦屋浜地区(4月)

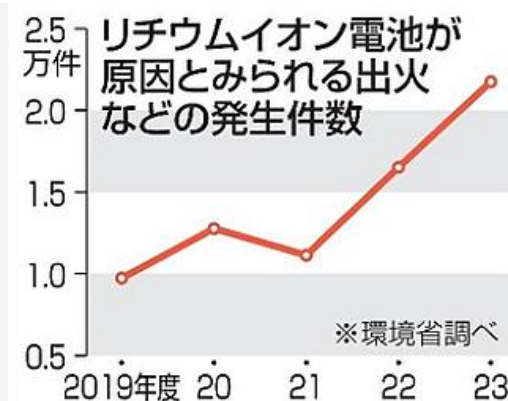
時間帯		4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/28	4/29	4/30	日平均 (4/1～4/30)	E平均 (3/1～3/31)	備 考
		火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水			
早期5時時点の赤ランプ箇所数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			・月曜日は土曜日の15：00以降の満杯発生合計
1回目（5:00） 運転前	3:00～5:00 ※月曜日のみ日曜日の3:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	「南浜町、海洋町」を月・水・金 収集運転 (呑込み回数により運転調整) ・月曜日のみ日曜日の3：00以降の満杯発生回数を 含んでおります。
2回目（15:00） 運転前	9:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	「月曜日のみ15:00頃に定時満杯運転」 「土曜日のみ14:20頃に定時運転（観光船は金曜日）」
	10:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	11:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	12:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	13:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	14:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	15:00～23：00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
1日の合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	

パイプライン運転報告(ごみ吸引状況) 南芦屋浜地区(5月)

時間帯		5/1	5/2	5/3	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	日平均 (5/1～5/31)	E平均 (4/1～4/30)	備 考
		木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土			
早朝5時時点の赤ランプ箇所数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			・ 月曜日は土曜日の15：00以降の満杯発生合計
1回目（5:00） 運転前	3:00～5:00 ※月曜日のみ日曜日の3:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	「市浜市、海洋市」を月・水・金 収集運転 (否込み回数により運転調整) ・月曜日のみ日曜日の3：00以降の満杯発生回数を含んでおります。
2回目（15:00） 運転前	9:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	「月曜日のみ15:00頃に定時満杯運転」 「土曜日のみ14:20頃に定時運転（陽光町は金曜日）」
	10:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	11:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	12:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	13:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	14:00～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	15:00～23：00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
1日の合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	

2. リチウムイオン(蓄)電池による火災

リチウムイオン電池が原因の火災は年々増え、全国の廃棄物処理施設では年間約 100 億円もの損害が発生していると推定されています。とりわけ、ごみ収集車や処理施設での出火が目立ち、スプレー缶、モバイルバッテリー、スマートフォンなどが主な火種です。原因としては、誤った分別処理、充電中の過熱、落下・衝撃による破損が挙げられます。



リチウムイオン電池が原因とみられる出火などの発生件数

背景

小型家電や日用品に内蔵されるリチウム電池の普及と、分別の不徹底が事故増加の背景にある。加えて、高齢化による分別力の低下や、訪日外国人向けのごみルール周知不足も要因とされます。

芦屋市でも、ごみ収集車からの出火事故が確認されています。火災を防ぐには、市民一人ひとりがリチウムイオン電池やスプレー缶を必ず分別し、可燃ごみや不燃ごみに混入させないことが不可欠です。適切な分別は私たちの責務であり、被害を抑える最も効果的な手段です。



約 700 万円で購入したプレス式パッカー車が廃車

火災発生場所

リチウムイオン電池を使用した家電

1. ごみ収集車で火災
2. ごみ処理場で課題
3. 住宅内での火災

モバイルバッテリー

1. 移動車両(飛行機・船・列車・地下鉄・車)での火災
2. 住居内での火災

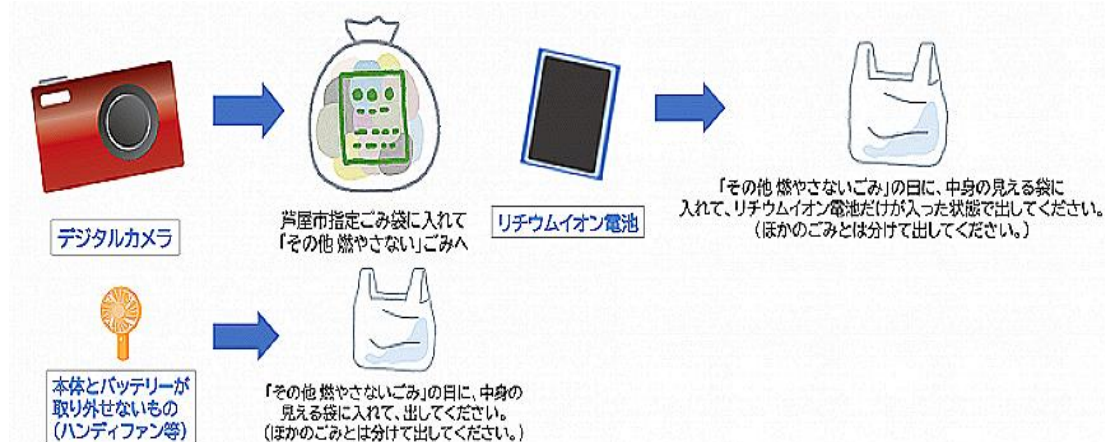


芦屋市の対策(HP より)



正しい出し方(捨て方)

- 販売店等での回収・リサイクルを優先してください。
- 回収・リサイクル先がない場合、以下の 2 パターンのどちらかでご対応ください。
 - ① バッテリーを取り外せるものは、一番長い辺が 30 cm 未満の家電製品については、指定ごみ袋に入れて、「その他 燃やさないごみ」の日に出してください。取り外したバッテリーは、中身の見える別の袋に入れていただき、「その他 燃やさないごみ」の日、ほかのごみ袋と分けて出してください。(※ビニールテープなどで端子部分を絶縁すること。)
 - ② 本体とバッテリーが取り外せないもの(ハンディファン等)については、「その他 燃やさないごみ」の袋に混載せず、別の中身の見える袋で出してください。



- ③ バッテリーが膨れているもの、液漏れしているものについては、環境処理センターへ直接お持ちいただく場合のみ受付可能です。また、お持ち込みされる場合は、名前、電話番号、持ち込むものの数、大きさ等の情報を事前に電話(環境施設課 ☎:0797-32-5391)をしてください。

他市事例

● 大阪市

リチウム蓄電池とリチウム蓄電池が取り外せない製品を市内10か所の環境事業センター(複数の行政区を管轄)で直接持ち込みにより回収。



リチウムイオン電池等回収ボックス



膨張・変形したものを保管する密閉容器

● さいたま市

市内 54 か所に設置されている使用済み小型家電回収ボックスに併設されている電池回収ボックスでリチウム蓄電池単体を回収。



小型家電回収ボックス



電池回収ボックス

絶縁テープを設置

神戸市

小型家電リサイクル回収事業

デジカメやゲーム機などの小型家電には、金や銀等、有用金属が多く使われています。例えば、日本国内で家電製品等に使われている金は、世界の埋蔵量の約15%になるとも言われており、家電製品を資源と見立てて「都市鉱山」と呼ばれています。

これら有用金属等のリサイクルを促進するため、2013年4月に小型家電リサイクル法が施行されました。

神戸市では、小型家電リサイクル法に基づき、ごみの減量と有用金属の資源化促進のため、小型家電リサイクルボックスによる回収事業(無償)を実施していますので、ぜひご協力をお願いします。

設置場所は主にスーパーマーケット等



使い方のポイント

1. 充電は目の届く範囲で

外出中・就寝中は、発火した場合に気づかないおそれも。とくに長年使っていない製品を充電する場合などには、注意が必要です。

2. 強い衝撃に注意

学校で使用するタブレット端末など、子どもの使用も増加。かばんに入れたまま投げたり、床に投げつけたりしないよう、取り扱いには注意しましょう。強い衝撃や圧力が繰り返し加わると事故のリスクが高まります。

3. 熱が加わると危険

暖房器具の近くや夏の車内に置きっぱなしにしない。布団の中など熱のこもる環境で充電すると、電池がさらにあたためられる上、燃え移るおそれがあり危険です。

4. 電池に寿命 定期的に買い替え検討を

製品によっては「××回充電可能」など、使用回数の目安が表記されているため、その回数を基準にしましょう。例えばモバイルバッテリーでは、一般的に充電回数は 300 回から 500 回程度といわれています。また長期間放置されているものも、過放電によって電池が劣化するおそれがあるので注意しましょう。

異常を感じたら

電池の発熱や、異臭、変形、充電できないなど異変に気づいた時は、ただちに使用を中止し、鍋や空き缶など頑丈な容器に入れ、蓋を閉めてください。万が一、発煙や発火した場合は、安全を確保した上で、大量の水や消火器などで消火してください

買い方のポイント

1. 非純正品・極端に安い製品に注意

過充電を防ぐための安全装置が付いていないなど、安全性に関わるコストがおさえられている製品が確認されています。購入する前に同じ性能の製品の価格帯を調べて、極端に安くなっていないか確認しましょう。

2. PSE マークを確認

「PSE マーク」は安全基準を満たした製品に表示でき、モバイルバッテリーなどの対象製品では、購入時の目安になります。ただし、丸形の PSE マークは国や研究機関などの第三者が認証するものではなく、事業者自らが確認して表示するものです。

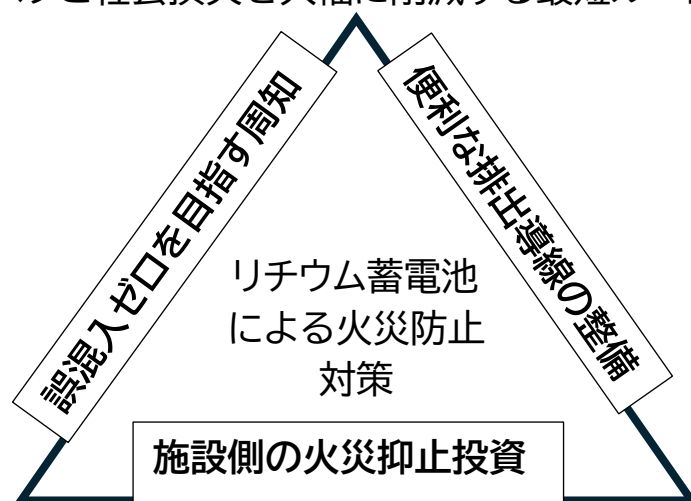


対策 国:環境省

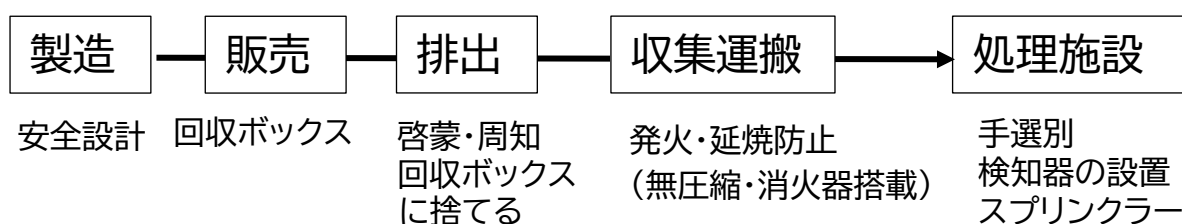
「市町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策」(令和7年4月15日通知)

所見(私の意見)

通知は「75%止まり」の分別回収率を100%へ引き上げる実行計画であり、①**便利な排出導線の整備**(住民が迷わず・手間なくリチウム電池を出せるしくみ)、②**誤混入ゼロを目指す周知**、③**施設側の火災抑止投資**の三位一体が鍵です。補助制度を最大限活用し、住民参加型の拠点回収ネットワークを早期に構築することが、火災リスクと社会損失を大幅に削減する最短ルートと考えます。



製品ライフサイクル全体



影響

この問題は、単なる事故防止策ではなく、都市型ごみ処理の「安全・効率・持続可能性」すべてに関わる課題です。現場の収集作業員は日々、見えない火種と隣り合わせで業務を行っており、信頼性の高い分別情報と専用回収体制の構築が急務です。短期的には火災感知センサーの装備支援や車載監視カメラの導入が進むだろうが、根本解決には「製造段階での回収前提設計(デザイン・フォー・リサイクル)」と「住民意識の継続的な啓発」の両輪が必要である。自治体にとっては、広報手法の見直し(多言語・視覚化)と地域回収ステーションの再整備が焦点となるだろう。最終的には国レベルでのEPR(拡大生産者責任)制度の強化と、流通段階での説明義務制度創設が期待されます。

ワーキング・グループの報告

令和7年度 パイプラインワーキンググループ(4回目)が日時:令和 7 年7月22日(火)14 時 00 分~16 時 00 分に場所:芦屋市環境処理センター会議室で開催されました。

1. ファシリテーターの決定

ファシリテーターのヒアリングが7月 4日(金)に開催され、最終結果通知が7月18日(金)にあり、契約締結が7月25日(金)になされました。これにより、8 月から、プロジェクトキックオフとファシリテーターと関係者全員が初めて顔を合わせ、全体計画を共有することからスタートします。。

2. これまでの議論で出た課題の整理

ワーキングで、パイプラインに関する代替案に関する課題を住宅形態別にまとめましたので、確認を行いました。

【高層住宅】

- ・ 既存の投入口ではパッカー車の寄りつきが困難な箇所がある。
- ・ 世帯数に対するゴミ投入口が少なく、代替収集の候補地に多くの敷地面積が必要。
- ・ 代替収集の候補地が少ない。
- ・ 代替収集の候補地の面積が小さい箇所がある。
- ・ 高層階からのゴミ出しに要する負担増加。
- ・ 市管理の投入口までの垂直輸送管の処理。
- ・ 住民組織力(管理組合、自治会等)に差があり、合意形成に影響を及ぼす。

【中層住宅】

- ・ 代替収集の候補地が少ない
- ・ パッカー車の転回(切り返し)スペースが必要

【タウンハウス】

- ・ パッカー車が進入できず、既存投入口にパッカー車の寄りつきが不可能な箇所がある。
- ・ 代替収集の候補地が少ない。
- ・ 代替収集の候補地の面積が小さい箇所がある。

【戸建て】

- ・ 既存投入口はパッカー車の寄りつきが困難な箇所がある。

【共通項目】

- ・ 代替収集案の選定。
- ・ 臭気対策(ゴミ出し後)。
- ・ カラス対策。
- ・ 景観問題。
- ・ 夜間の安全性。
- ・ ゴミ出しの際の音。
- ・ 車道との段差
- ・ ゴミ出し箇所までの物理的距離が長くなる方がいる。
- ・ 植栽の撤去が必要となる。
- ・ 収集作業員の高齢化。
- ・ 収集作業員の人材不足。
- ・ 関係者【市担当部局(収集事業課、道路・公園課)、自治会組織、UR、兵庫県等。
- ・ 公社、四者協、近隣住民】との代替収集の候補地に関する調整。
- ・ 市民への代替収集案の提示方法(説明会等)。
- ・ 実証実験の実施方法や地域の選定。
- ・ 実証実験の際に、住宅形態ごとに選定する3つの代替案の仕様。
- ・ ゴミ出しに関するルール作成が必要(各組織別)。
 1. ゴミ出しが可能な曜日・時間帯
 2. 生ゴミについて
- ・ ゴミ出し施設が満杯となった場合の対応。

利用者からの要望

代替案について皆さんから要望があればお願いします。

(例)生ごみ(におい)への対応

理由:生ごみは毎日捨てることができなくなる可能性があるので、においの問題が発生する。ベランダの置くとカラスにやられる。そのため住宅内の生ごみのにおい进行处理する「生ごみ処理機」購入の補助を希望します。

要望:

理由:

私たちの HP の紹介

ごみの捨て方(分別)で悩んでいませんか？

私たちの HP では「賢いごみ処理・活用方法」を紹介しています。日ごろのごみをどう捨てたらいいのかわからない場合は参考にしてください。特に分別には役立つ情報を満載しています。

<https://pipelineusers.cms.webnode.jp>

メニュー

[メインページ](#) > [賢いごみ処理](#) (7月28日更新)

- [メインページ](#)
- [私たちの活動](#)
- [パイプライン運転状況](#)
- [パイプライン運転時間 \(新規\)](#)
- [啓蒙活動](#)
- [パイプラインOKごみ・NOごみ](#)
- [危険物ごみ撲滅運動 \(新規\)](#)
- [工事関連 \(12月28日更新\)](#)
- [CO2削減活動 \(6月4日更新\)](#)
- [オープンデータ \(更新\)](#)
- [マナー違反ごみ \(5月23日\) 更新](#)
- [パイプライン施設への提案](#)
- [スケジュール \(更新\)](#)
- [パイプラインの運用期間条例](#)
- [年次報告と長期活動計画](#)
- [議事録・月報 \(5月18日\) 更新](#)
- [誤投入防止対策](#)
- [私たちの活動](#)
- [トラブル「ゼロ」化運動](#)
- [利用者起因トラブル情報](#)
- [Googleアラートごみ情報](#)
- [賢いごみ処理 \(7月28日更新\)](#)
- [ごみ講座 \(7月3日更新\)](#)

賢いごみ処理・活用方法

ごみ処理に関して役立つ情報を集めています。

2025年7月

- [ボールペンの正しい捨て方「多くの地域は可燃ごみです」](#) 滝沢秀一
- [正しくない「ペットボトルや缶の捨て方」について発信](#) 滝沢秀一
- [草木を捨てる時は“アレ”をすると「清掃員がすごく助かります！」](#) 滝沢秀一
- [「シンクが詰まる原因に」保冷剤の“意外な中身”と正しい捨て方とは](#) 滝沢秀一
- [「部屋が汚い人」にありがちな“NG習慣”とは](#) 二見文直
- [スプリングマットレスは徐々に粗大ごみで捨てられなくなりつつあります](#) 滝沢秀一

2025年6月

- [家庭ごみでは液体を回収できません 捨てる時の液体の扱い方](#) 滝沢秀一
- [ごみ袋はごみ箱のそばに置こう、ついでに袋かけをしやすいように](#) 本間朝子
- [ペットボトルを使っているドレッシングの容器の捨て方](#) 滝沢秀一

2025年5月

- [ごみ袋の口、ガムテープで巻いて出すのってあり？](#) 滝沢秀一
- [仕事のできる人が「朝30秒のゴミ出しができない」のはなぜか](#) 二見文直
- [つくる責任 つかう責任](#) 滝沢秀一
- [知っているようで知らない！ごみ捨ての常識は？](#) 滝沢秀一

2025年4月

- [水に濡れると発熱するものも 石灰系乾燥剤](#) 滝沢秀一

事例

2025 年7月

- ボールペンの正しい捨て方「多くの地域は可燃ごみです」
- 正しくない「ペットボトルや缶の捨て方」について発信
- 草木を捨てる時は“アレ”をすると「清掃員がすごく助かります」
- 「シンクが詰まる原因に」保冷剤の“意外な中身”と正しい捨て方とは
- 「部屋が汚い人」にありがちな“NG 習慣”とは